

大名家のこどもたち

大名家にとって、こどもたちは一家の存続・繁栄のためにも非常に重要な存在でした。特に近世の乳幼児死亡率は近現代に比べて非常に高かったため、大切なこどもたちの健康を願って豪華な衣服や手回り品を準備しました。またこどもたちは、幼少期から跡継ぎとなるべく養育され、武芸のみならず書や絵画など、幅広い教養を身に付けました。こうした手厚い庇護を受け誕生、成長したこどもたちは、幼いうちから家督を相続して藩主となったり、女子は他家へ嫁いだりと、現代のこどもたちとは全く違う生活を送ります。

本展覧会は、蜂須賀家旧蔵品はもちろん、その周辺で、藩主などの幼少期に関わる資料が残る大名家を中心に、婚礼調度や童具足、書や絵画といった手習いの品を展示し、大名家のこどもたちの日常を垣間見ることのできる内容といたします。蜂須賀家からは、江戸時代後期のこども用衣服コレクションをご紹介します。



鳩図 池田宗政筆 一般財団法人林原美術館蔵



百人一首短冊帖 高知県立高知城歴史博物館



革包丸龍文二枚胴具足
当館蔵(岡田一郎氏寄贈)



陣羽織
愛媛県歴史文化博物館蔵



短刀拵 一般財団法人林原美術館蔵



【重文】綾杉地獅子牡丹蒔絵婚礼調度(角赤手箱)
一般財団法人林原美術館蔵



綱政公御筆御幼少之御画(花園巻) 池田綱政筆 一般財団法人林原美術館蔵